

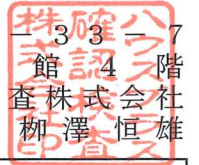


受付日：平成23年5月26日
受付番号：HP11-KT055

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成23年8月5日

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 柳澤恒雄



1. 接合金物名称	「オメガコーナー20kN用」+「柱交換用パイプコーナー」
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	耐力壁の取り付く柱の仕口(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>接合金物1:「オメガコーナー20kN用」 材質: SS400 (JIS G 3101^{*1}) 寸法: 55mm×160mm×65mm(外形寸法) 板厚t=3.2mm ビス用孔 柱側: 8-φ6.5mm、横架材側: 4-φ6.5mm 表面処理: なし^{*2}</p> <p>接合金物2:「柱交換用パイプコーナー」 材質: 板部: SPHC (JIS G 3131^{*3}) パイプ部: SGP (JIS G 3452^{*4}) 寸法: 板部: (外形寸法) 45mm×85mm×120mm パイプ部: φ27.2mm 板部: 板厚t=3.2mm パイプ部: 板厚t=2.8mm 表面処理: Ep-Fe/Zn5/CM2 C (JIS H 8610及び8625^{*5})</p> <p>2) 接合具</p> <p>接合金物1用 柱側:「TBA-65」8本 材質: SWCH22A(JIS G 3507-2^{*6}) 寸法: φ6.0mm, L=65mm 表面処理: ダクロタイズド処理</p> <p>横架材側:「TB-101」4本 材質: SWCH22A(JIS G 3507-2^{*6}) 寸法: φ6.2mm, L=100mm 表面処理: ダクロタイズド処理</p> <p>接合金物2用 柱側:「TBB-75」4本 材質: SWCH22A(JIS G 3507-2^{*6}) 寸法: φ7.2mm, L=75mm 表面処理: ダクロタイズド処理</p> <p>横架材側:「TBB-75」4本 材質: SWCH22A(JIS G 3507-2^{*6}) 寸法: φ7.2mm, L=75mm 表面処理: ダクロタイズド処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱: 105mm×105mm×600mm スギ 無等級製材 含水率: 9.5~12.0% 絶乾密度: 0.36~0.40g/cm³</p> <p>横架材: 105mm×105mm×1000mm スギ 無等級製材 (土台) 含水率: 6.5~9.5% 絶乾密度: 0.37~0.45g/cm³</p> <p><small>*1 JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材 *2 市販品は表面処理227を施す *3 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 *4 JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 *5 電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜 *6 JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼-第2部:線</small></p>
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせ、2種類の接合金物を柱の対面に取付けた仕様としている。 試験体の固定: 柱芯より横架材両木口側に400mmの位置で角座金「ホールダウンプレート用80角 角座金」(80mm×80mm t=9.0mm)及び固定用ボルトM12により緊結した。(締付トルク管理値: 20N・m)
7. 試験結果	短期基準接合耐力 22.8 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター: 神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成23年6月23日、24日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 上杉 義則 道場 信義 千葉 博 加川 啓介

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。